

【タイトル】

最近の感染傾向とワクチン接種後の心得について（甲斐市教育委員会）

【本文】

全国的に感染者が増加するなか、首都圏を中心に緊急事態宣言が発令され、山梨県においても感染者は増加傾向にあります。最近の感染傾向と、ワクチン接種後の心得について次のおりお知らせします。夏季休業中ではありますが、感染症予防の徹底を再度、お願いいたします。

◎最近の新型コロナウイルス感染傾向について

- ワクチンを1回接種後、または2回目の摂取直後にスポーツや会食等を通して感染。（抗体がつくまでには、2回目接種後1～2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではないと言われている。）
- 日頃から一緒に生活をしていない家族や親族、知人などが集まり、会食やレジャー等で行動を共にすることで感染者が発生。
- 濃厚接触者が自宅待機中（経過観察中）にコロナ感染の要請者になる人が増えている。
- 感染力の強いデルタ株による発症の増加により、感染が拡大傾向にある。

◎新型コロナワクチン接種後の心得

ワクチン接種後も感染予防の徹底が必要です。

- ワクチンを以回接種したのみ、または2回目の摂取直後では感染してしまうことがあります。抗体がつくまでには2回目接種後1～2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%ではないと言われている。→引き続き、うがい・手洗いマスク着用など感染予防対策を継続していきましょう。
- 食事、喫煙の際のマスクをはずして会話をすると、新型コロナウイルスに感染するリスクが高まります。
- 会話の際はマスクをする、ハンカチで口元を覆うなどの工夫をお願いします。
- ご家庭に高齢者、妊婦、お子さんがいる場合は、特に外からの持ち込みによる家庭内感染にご注意ください。